

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成20年2月5日

上場会社名 スガイ化学工業株式会社 上場取引所 大証第2部
 コード番号 4120 URL <http://www.sugai-chem.co.jp>
 代表者 代表者役職・氏名 代表取締役社長 永岡 雅次 (TEL : (073) 422-1172)
 問合せ先 責任者役職・氏名 取締役管理本部長 武田 晴夫

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成20年3月期 第3四半期	4,965	△3.5	401	2.1	345	3.4	312	0.2
平成19年3月期 第3四半期	5,143	△3.5	392	5.7	334	12.1	311	—
平成19年3月期	7,734	—	461	—	386	—	340	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成20年3月期 第3四半期	22	80	—	—
平成19年3月期 第3四半期	22	75	—	—
平成19年3月期	24	85	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
平成20年3月期 第3四半期	12,537	—	4,981	—	39.7	363	41	
平成19年3月期 第3四半期	10,448	—	4,708	—	45.1	343	45	
平成19年3月期	10,845	—	4,854	—	44.8	354	13	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成20年3月期 第3四半期	565	—	△1,112	—	297	—	748	—
平成19年3月期 第3四半期	497	—	△340	—	△681	—	948	—
平成19年3月期	727	—	△740	—	△467	—	993	—

2. 平成20年3月期の業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

【参考】

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	8,000	3.4	510	10.4	410	6.1	330	△3.2	24	7

3. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格高騰による影響があり、個人消費は横ばいとなっているものの、輸出が好調に推移し、設備投資も増加するなど、全体的に緩やかな回復基調が続いています。また、海外景気は、米国ではサブプライムローン問題の影響で減速気味であるものの、中国では引き続き拡大し、ユーロ圏も全般に底堅いものでした。

このような状況の中で当社の営業は、機能性中間物の国内向けは増加しましたが、農薬中間物の輸出向けが減少したため、売上高は前年同期に比べ178百万円(3.5%)減少の4,965百万円となりました。国内売上高は、医薬中間物は減少しましたが、農薬中間物及び機能性中間物で既存品が堅調に推移したことと新製品の寄与もあり、前年同期に比べ610百万円(22.6%)増加の3,304百万円となりました。一方、輸出売上高は、医薬中間物は増加しましたが、農薬中間物が大きく減少したため、前年同期に比べ788百万円(32.2%)減少の1,660百万円となりました。

また、利益につきましては、前期に引続き原材料費の高騰、価格競争激化の影響はありましたが、製造原価低減及び生産性の向上に努めたこと等により、営業利益401百万円(前年同期392百万円)、経常利益345百万円(前年同期334百万円)、四半期純利益312百万円(前年同期311百万円)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ1,692百万円増加の12,537百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が603百万円並びに現金及び預金が245百万円減少しましたが、たな卸資産が第4四半期の売上に対応するため1,007百万円増加したため、前期末に比べ182百万円増加の5,937百万円となりました。また、固定資産は、福井工場での新プラント建設工事等に伴い建設仮勘定が1,696百万円増加したことにより有形固定資産が1,674百万円増加しましたが、投資その他の資産で164百万円減少したため、前期末に比べ1,510百万円増加の6,599百万円となりました。

負債につきましては、前期末に比べ1,565百万円増加の7,556百万円となりました。これは主に借入金338百万円、設備関係支払手形が997百万円増加したことによるためです。また、純資産は前期末に比べ126百万円増加の4,981百万円となり、自己資本比率は39.7%(前期末44.8%)となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

前回公表(平成19年11月14日)の通期の業績予想に修正はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、法定実行税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当事業年度より平成19年度法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更により損益に与える影響は軽微であります。

また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち、前期末において償却可能額まで償却が終了しているものについては、残存簿価を5年間で均等償却しております。

なお、当第3四半期までに償却した金額は41百万円であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
I 流 動 資 産					
現金及び預金	948	748	△ 200	△ 21.1	993
受取手形及び売掛金	1,882	1,837	△ 45	△ 2.4	2,441
たな卸資産	2,888	3,305	417	14.5	2,298
その他	35	46	10	30.3	22
流動資産合計	5,755	5,937	182	3.2	5,755
II 固 定 資 産					
有形固定資産	3,556	5,525	1,968	55.4	3,850
無形固定資産	5	5	-	-	5
投資その他の資産					
投資有価証券	1,041	997	△ 44	△ 4.3	1,144
その他	89	71	△ 18	△ 20.3	89
投資その他の資産合計	1,131	1,068	△ 62	△ 5.5	1,233
固定資産合計	4,693	6,599	1,906	40.6	5,089
資 産 合 計	10,448	12,537	2,088	20.0	10,845
(負 債 の 部)					
I 流 動 負 債					
支払手形及び買掛金	1,213	1,492	279	23.0	1,157
短期借入金	1,334	1,250	△ 84	△ 6.3	1,425
1年以内返済予定の 長期借入金	912	634	△ 277	△ 30.4	925
その他	514	1,469	955	185.7	591
流動負債合計	3,973	4,846	872	22.0	4,100
II 固 定 負 債					
長期借入金	1,480	2,395	914	61.8	1,589
その他	285	314	28	10.0	299
固定負債合計	1,766	2,709	943	53.4	1,889
負 債 合 計	5,740	7,556	1,816	31.6	5,990
(純 資 産 の 部)					
I 株 主 資 本					
資 本 金	2,510	2,510	-	-	2,510
資 本 剰 余 金	2,016	2,016	-	-	2,016
利 益 剰 余 金	256	556	300	117.3	284
自 己 株 式	△ 3	△ 3	△ 0	23.1	△ 3
株 主 資 本 合 計	4,779	5,079	299	6.3	4,808
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等					
その他有価証券評価差額金	△ 55	△ 93	△ 37	68.8	52
繰延ヘッジ損益	△ 15	△ 4	10	△ 68.8	△ 5
評価・換算差額等合計	△ 70	△ 98	△ 27	38.1	46
純 資 産 合 計	4,708	4,981	272	5.8	4,854
負 債 、 純 資 産 合 計	10,448	12,537	2,088	20.0	10,845

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	5,143	4,965	△ 178	△ 3.5	7,734
II 売 上 原 価	4,113	3,889	△ 224	△ 5.5	6,413
売 上 総 利 益	1,029	1,075	46	4.5	1,320
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	636	674	37	5.9	859
営 業 利 益	392	401	8	2.1	461
IV 営 業 外 収 益	29	33	4	14.6	38
V 営 業 外 費 用	87	88	0	1.1	113
経 常 利 益	334	345	11	3.4	386
VI 特 別 損 失	17	28	10	59.7	39
税引前四半期(当期)純利益	316	317	0	0.2	346
税 金 費 用	4	4	0	3.1	5
四 半 期 (当 期) 純 利 益	311	312	0	0.2	340

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税引前四半期(当期)純利益	316	317	346
2. 減価償却費	318	367	425
3. 賞与引当金の増減額	△ 25	△ 62	41
4. 退職給付引当金の増加額	19	15	24
5. 為替差益	△ 3	△ 4	△ 4
6. 有形固定資産除却損	17	28	39
7. 売上債権の増減額	151	603	△ 406
8. たな卸資産の増減額	△ 438	△ 1,007	151
9. 仕入債務の増加額	170	334	115
10. その他の他	13	25	53
小 計	540	618	787
11. 利息及び配当金の受取額	15	15	15
12. 利息の支払額	△ 54	△ 53	△ 71
13. その他の他	△ 3	△ 15	△ 3
営業活動によるキャッシュ・フロー	497	565	727
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	△ 348	△ 1,114	△ 751
2. その他の他	8	1	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 340	△ 1,112	△ 740
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の純減少額	△ 796	△ 175	△ 505
2. 長期借入れによる収入	900	1,200	1,100
3. 長期借入金の返済による支出	△ 784	△ 685	△ 1,061
4. 配当金の支払額	-	△ 40	-
5. その他の他	△ 0	△ 0	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 681	297	△ 467
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3	4	4
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 520	△ 245	△ 475
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,468	993	1,468
VII 現金及び現金同等物の期末残高	948	748	993